

局長及各警察署長ニ命シ右標語ヲ一律除去セシム且ツ今後
巡警ヲシテ省、市両党部ノ承認ヲ経サル標記ヲ貼付シ伝單
ヲ撒布スル事ヲ厳重取締ラシムル事トセリ右ハ探聞スルニ
近來共産党、安福系等現革命反対分子ノ之ヲ利用シ外交関
係ヲ紛糾セシムルカ如キ策動ヲ防止スル目的ヲ以テ中央ヨ
リ武漢政治分会ニ命令シ来レル結果ナリ

北京、上海、南京へ転電セリ

758 昭和3年12月23日 在蘇州岩崎領事より
田中外務大臣宛(電報)

蘇州における護憲反日会主催の反日宣伝大会
について

第四三号 蘇州 12月23日後発
本省 12月24日前着

第四三号

当地護憲反日会ハ曩ニ全国反日会ノ通令ヲ奉シ本月十五日
城内公共体育場ニ於テ反日各大宣伝大会ヲ行ヒ次テ反日游

上海、南京ニ暗送セリ

北京ニ転電セリ

メラレタリ

北京ニ転電セリ

今回ノ反日大会ニ関シテハ當地官憲ニ於テ充分取締ルヘキ
ニ付誤解ナキ様願度旨數日前交渉員ヨリ本官ノ諒解ヲ求メ
來リタルカ事実公安局ノ警戒振ハ相当嚴重ナリシモノト認

メラレタリ
上海、南京ニ暗送セリ

一〇 中国外交関係雑纂

759 昭和3年1月17日 在奉天蜂谷總領事代理より
田中外務大臣宛

ランプソン英國公使と劉尚清奉天省長との会
見について

機密公第三五号 (1月21日接受)

在奉天

外務大臣男爵 田中 義一殿
總領事代理 蜂谷 輝雄(印)

在支英國公使ト劉省長トノ会見ニ關スル件

本件ニ關シ當館警察情報左ノ通何等御参考迄報告ス
記

夫人ノ帰國ヲ見送ノ為過日過奉哈爾賓ニ赴キタル英公使ハ
昨十二日午後一時着奉直チニ英領事館ニ入り少憩後午後三

シ近來新聞ニ依レハ東三省カ露國ト隣接シ居ル關係上常ニ
對

本信写送付先 在支公使

~~~~~

支那人ノ入露者多ク漸次赤化スルモノ多キヲ加ヘツツアル  
趣ナルカ之等赤化支那人ノ将来東三省ニ及ホス影響甚大ナ  
ルモノアルヲ思ハシム貴省長ハ之ニ対シ如何ナル見解ヲ有  
スルヤト質問ヲ發シタル処劉省長ハ右ノ事情ナシトセサル  
モ東三省當局ハ嚴重ナル警戒ヲ為シ防衛ノ道ヲ講シツア  
レハ決シテ我國ノ治安ヲ紊シ東三省在留外人ニ危害ヲ及ス  
カ如キ事ナキヲ保証スルモノナレハ此点御安心アリタシト  
述ヘタル趣ナルカ同公使ノ過奉赴哈ニ關シ種々憶測ヲ為ス  
モノアリ現在英露國交斷絕ノ際態々夫人力露國ヲ通過シ帰  
國スルコトハ其ノ間何等カヲ意味スルモノナラントシ注視  
ノ的トセラレアルカ右ニ關シ其ノ真相ヲ得サルモ同氏今回  
ノ旅行ハ名ヲ夫人見送リニ藉リテ北滿一帶ノ露支關係東支  
鐵道ノ現状赤露ノ對滿蒙政策等内査ノ為ニ非サルカト思料  
セラル

760 昭和3年1月21日 在中国芳沢公使より  
田中外務大臣宛(電報)

中国の政情並びに英國の対中政策に鑑み閩税等國際會議対策につき意見具申

北京 1月21日後發

本省 1月21日後着

第八九号(極秘)

英國ノ対支政策ハ過去一年間ニ於テモ幾多ノ変遷ヲ見タルカ近來支那ニ於ケル露國勢力ノ減退南方ノ對露断交国民党内ノ分裂及共産党分子ノ不振等ト共ニ廣東漢口上海其他南方ニ於ケル政情ハ漸次英國ニ有利ニ転シ蔣介石モ十八日和平方法及妥協的精神ニ依ル考慮一般條約改訂方ヲ宣言シ非常手段ヲ戒メ英國ノ一般南方ニ對スル不安漸ク減退シタルカ他方北方軍閥トハ近來非常ニ接近シ十九日「チャンバーレン」ノ「バーミンガム」演説ニアルカ如ク「支那ノ政情ハ改善ヲ見タル」カ故ニ英國ハ此機會ニ於テ兩三年來動搖セル「プレスチジ」ヲ立て直シ南方ニテ失ヒタル勢力ノ回復ヲ計ラントスルモノノ如ク而シテ之力カ如ニハ近來支那人ノ間ニ醸釀スル南北和平會議將又南北閩稅會議開催ノ

機運ヲ利用シ之カ潮流ニ乘ラントスルモノナルヤモ計リ難シ

一般支那國民ハ多年ニ亘ル内乱ト軍閥ノ跳梁トニ苦ミタル結果内亂ノ終熄ヲ熱望シ從来モ屢々和平運動ヲ見タルカ近來又南北有志者ノ間ニ盛ニ南北和平運動力唱ヘラレ之カ運動ヲ為スモノアリ

而シテ今回ノ運動ハ國民ノ疲弊極度ニ達セル為從來ニ比シ多少真剣味ヲ帶ヒ居ル感アルモ之カ運動ニ与ル者ハ政治家実業家乃至策士ニシテ軍閥ハ精々ノ處斯カル運動ヲ自家ノ「インテレスト」ニ利用セムトスルニ止マリ大數ハ懷疑的ノ態度ヲ以テ之ニ臨ムヘク現状ニ於テハ到底軍閥ノ誠意アル参加ヲ見ル事困難ナルヘキカ故ニ今回ノ運動モ恐ラク大正十二年「ロバート、ホートン」ノ和平會議同様何等ノ成果ヲ齎ス事無カルヘシ左レト茲ニ注意スヘキハ近來外交系統有志家ノ間ニ唱ヘラル南北外交機関ノ統一運動ニシテ支那ハ多年南北相對峙スルモ外交關係ニ於テハ大體ニ於テ常ニ步調ヲ合ハセ殊ニ不平等條約ノ改訂及閩稅關係等ニ付テハ南北ノ主張一致スルカ故ニ右運動ノ結果ハ仮令其唱道スルカ如キ獨立ノ成立ヲ見ル事困難ナルヤ計リ難キモ南

大正十二年「ロバート、ホートン」ノ和平會議同様何等ノ成果ヲ齎ス事無カルヘシ左レト茲ニ注意スヘキハ近來外交系統有志家ノ間ニ唱ヘラル南北外交機関ノ統一運動ニシテ支那ハ多年南北相對峙スルモ外交關係ニ於テハ大體ニ於テ常ニ步調ヲ合ハセ殊ニ不平等條約ノ改訂及閩稅關係等ニ付テハ南北ノ主張一致スルカ故ニ右運動ノ結果ハ仮令其唱道スルカ如キ獨立ノ成立ヲ見ル事困難ナルヤ計リ難キモ南北

北對外政策統一ノ機運ハ之カ為ニ非常ナル刺激ヲ受クヘク就中南北閩稅會議ニ至テハ税權ノ恢復ニ於テ南北ノ意向一致シ會議ノ結果ハ南北兩者ニ對シテ収入増加トナリ且南方ニハ黃郛王正廷等ノ閩稅會議關係者ノ運動モアルヘキカ故ニ早晩會議ノ開催ヲ見ルヘク

現在英國側カ右ヲ目指シ「エドワーズ」ノ奔走スル處モ亦此閩稅會議ノ開催ニ在リ斯くて英國ハ此會議ヲ促進シテ一

昨年十二月十八日ノ「メモランダム」ノ趣意ヲ漸次實現セムトスルモノナルヘク我方ニ於テモ右會議及英國側ノ態度ニ對シテハ篤ト注意ヲ払ヒ予メ之カ対策ヲ講スルノ必要ア

ルヤニ認メラルル處此種ノ運動力終局ニ於テ果シテ成功スヘキヤ否ヤニ閩シテハ閩稅增收ノ希望ハ必然的ニ軍閥ノ貪欲ナル野心ヲ挑発シテ内亂ヲ深刻化セシムヘキカ故ニ其ノ結果カ往年ノ閩稅特別會議ノ轍ヲ履ムヘキ虞大ナルヲ否定スヘカラス唯列國トシテハ貿易上ノ利害關係大ナラサル為其成否如何ヲ問ハス支那政局ヲ安定セシメムカ為ノworth while ノ一努力トシテ之ヲ歓迎シ結局南北ノ税率會議及債務整理ニ關スル各國ノ會議ハ大多数諸國ノ好意的援助ノ下ニ開催セラル羽目トナルヘキヲ予想セサルヘカラ

761 昭和3年2月8日 在中国芳沢公使より

田中外務大臣宛(電報)

北京政府閩稅關係者会合、軍民分治案、南北外交統一問題に関する梁士詒の談話について

北京 2月8日後發

本省 2月8日後着

第一六四号

二月六日梁士詒ト西田トノ会談中参考トナル分左ノ通

一、三日潘總理邸閩稅關係者ノ会合ニハ自分モ出席シタルカ要スルニ民國十四年十一月及十五年三月ニ各國閩稅委員ヨリノ提案並十五年九月ニ支那側閩稅委員ニ於テ政府ニ報告シタル七種類區別徵稅案ヲ根拠トシテ協議シ差当リ二分五厘ノ暫行付加稅率ヲ海關ニテ徵收シ次テ國定稅

率ヲ実施スル方針ナリ（税務督弁任命ヲ承認セルモ内心多少色氣アル口吻ヲ洩ラセリ）

二、軍民分治案ハ自分カ一昨年張作霖ノ入京前天津ニ於テ

主張シタルモノナルカ當時張學良ノ如キハ該案ノ実行シ

難キヲ口実ニ反対シタルモ今日ニ至リ軍事財政ノ行詰リ

ヨリ軍民分治ノ外ナキヲ自覚スルニ至リ旧暦正月ノ張宗

昌孫傳芳褚玉璞等トノ會議ニ於テモ張作霖初メ奉天派ノ

幹部モ之ニ同意セルニ付漸次実行スル筈ナリ然ルニ該案

実行ニハ差当リ約八百万元ノ軍民両政費ヲ要スルカ只今

内外借款共ニ不可能ナルニ付閏稅增徵ニ依ルノ外ナク從

テ軍民分治案ト閏稅增徵トハ密接ノ關係アリ分離シテ實

行セラルモノニアラス

三、南北外交統一問題ハ現時ノ如ク内部ニ於テ南北分立シツツ對外的タケニ直ニ統一スルコトハ困難ナルモ支那對外國トノ各種條約及國際關係ノ債務整理ノ兩問題ハ南北共ニ同様ノ立場ニアルヲ以テ南北合併ノ外交委員会及國際關係ノ財政委員会ヲ漸次設置シテ對外問題ノ解決ニ資セントスル希望ナリ

上海へ転電セリ

762 昭和3年2月(29)日 在廣東森田總領事より  
李濟深に関するランプソン英國公使の談話について  
田中外務大臣宛(電報)

第二二二号

二月二十七日本官「ランプソン」公使ヲ往訪シタル処大要

広 東 本 省 2月29日前着 発

李濟深トハ二回会見セリ最初李ハ「レザーブ」勝ナリシモ第二回目ニハ打解ケテ談話セリ余ノ印象ニテハ李ハ眞面目ナル確リシタル人物ナリ即チ共産党動乱後ノ廣東秩序回復或ハ行政各方面ノ整理等ニ於ケル彼ノ遭口ハ如何ニ彼カ眞面目ニ事ニ當リ居ルカヲ示スモノニシテ外國側トシテモ斯ノ如キ人物ニ対シテハ同情シ且「エンカレジ」スル様致シタキモノナリ廣東ノ財政整理ハ頗ル困難ナルヘキ處借款問題ニ付テハ李ハ予ニ対シ何等言及セス蓋シ確実ナル「セキユウリチイ」サヘ与フレハ香港支那商人中之ニ応スルモノ

アルヘシト思考セラル李ノ質問中支那ノ平等待遇要求ニ対シテハ余ハ支那ノ希望ハ之ヲ諒トスルモ先ツ支那側ハ列国

ニ対シ「クレジット」ヲ与ヘ得ルニ至ル迄努力セサルヘカラスト答ヘ閑稅自主要求ニ関シテハ支那全國一致シテ之ヲナスコト及列國カ之ヲ等シク承認スルコト必要ナルヘシト答ヘ置ケリ尚海賊取締ニ關シ李ハ目下艦船不足ノ為充分之ヲ行フコト能ハスト語レルヲ以テ余ハ他ノ目的ニ使用セサルニ於テハ此点ニ付便宜ヲ与フルモ可ナルヘシト答ヘタリ右御参考迄

北京、上海ニ転電シ香港、福州、濟南、南京、漢口ニ暗送セリ

763 昭和3年3月2日 在香港村上總領事より

田中外務大臣宛(電報)

広東政府を支持し、南支における英國の地歩

を固めようとするランプソン公使の言動について

香港 3月2日前發 本省 3月2日後着

第一二二号  
往電第一〇号ニ関シ

(1) 第一二二号

一、「ラムソン」二十八日帰香セリ一日午後上海へ向ヶ離香ノ筈ニテ李濟深夫妻朱兆莘等之力答訪見送リヲ兼ネ二日来香四日迄正客トシテ總督官邸ニ滞在シ總督夫妻又民政長官ト共ニ九日廣東ニ李ヲ答訪シ十一日帰香ノ筈

公使、李主席、總督交互通商訪問交換ハ近年殊ニ省香

断交以来初メテ見ル處ニシテ其ノ相互ノ官民各界ニ亘ル

歎待振異常ニ公式懇篤又大袈裟ニシテ宛然公式ニ承認セ

ル政府代表者間ノ夫ノ如キモノ有リ省香和親ノ新紀元ヲ策スモノトシテ當地英支人ノ期待ヲ牽キツツアリ

(2) 二月二十九日總督ノ晚餐会席上同公使ハ本官ニ対シ自分ハ對支外交上日英協調ヲ信条トシ貴國公使ト此精神ニ依リ隔意ナク接觸シ來リ今次廣東ニ於テモ同政府ニ対スル觀測及李等トノ會談ノ内容ヲ詳細森田總領事ヘ打明ケ公使ヘノ通報ヲ求メ置キタリト繰返シタル上自分ハ李ノ支配下ニ廣東カ地歩ヲ確立シ之ヲ地方政府ト認メ得ルニ到ルコト可能ニシテ又適切ト思惟シ(recognize)ト云ヘルモ法的意味ニ非スト解セリ)之カ為差支ナキ限り支持

援助ヲ与フル要アリト信スルモノナル旨ヲ語レリ

右ニ対シ何等カ具体的ニ日英協調シテ廣東政府支持方ヲ考慮シ又國意味セラルニヤト推問セルニ必スンモ然ラストテ日本

ト共ニ同情ヲ以テ廣東政府ヲ遇シ又日英協調ヲ支那ニ示スノ要アル趣旨ヲ繰返シ具体的内容ニ言及スルヲ避ケタ

リ依テ本官ヨリ曩ニ李ノ部下ヨリ借款申込アリシモ謝絶セル旨語リ新借款風説ノ真否ヲ探リタルニ同公使ハ今次

李ヨリ自分ニ対シテモ更メテ申出アリタルカ借款ハ水ノ如ク低地ニ流ルモノニシテ市場救済ノ目的ヲ達スルコト困難ナリト比喩的ニ答ヘ置キタリト述ヘ的確ナル回答ヲ避ケタルカ何等否定的所言ヲナササリキ

三、將又總督公使隨員同席上ノ談話等ヲ綜合スルニ英國側トシテハ最近「ブレナン」朱兆莘等ノ間ニ開カレタル友好關係並予テ李濟深朱兆莘等ト当地立法委員会支那人代表周羅兩名間ニ省香兩地支那商務會館等ノ私的親交ヲ媒介トスル李政府当政下間ノ接近ヲ今次「ラムソン」ノ廣東訪問ニ依リ著シク促進シ此ノ機会ニ於テ先ツ少クトモ省香從来ノ疎隔ヲ一掃シ和親ノ形ヲ公ニ全フシテ商路ヲ回復シ當地方近年ノ不振ヲ救フヲ目的トシ尚時宜ニ依

リテハ何等カ具体的ニ李ノ廣東政府支持方ヲ考慮シ又國民党各派結束ノ氣運ヲ作り南支ヲ主トシテ英國将来ノ地歩ヲ固ムル希望ナキニアラスト認メラル

右支持方法ニ付テハ未タ探知シ得ス又具体的ニ商議中ト

ハ認メ難キモ今日迄ノ情勢及情報ヲ綜合スルニ廣東政府ニ於テ要望スルハ(イ)粵漢線工事ノ速成九広鉄路支那線ノ改良粵漢九広三水三鉄路ノ連絡線建設ノ孰レカラ名義トスル借款ニ依ル財政救済(ア)廣東市街改造借款(イ)二五付加税ヲ担保トスル國庫証券ノ香港ニ於ケル流通承認乃至(イ)

関稅類ノ廣東政府ニ對スル割当帰属ノ承認(ア)條約改訂上廣東政府ヲモ相手方トシ非公式協議開始又ハ同政府ニ對

スル地方的承認ニ依リ他ノ国内政府ニ對比シ優越的地位開拓方(イ)廣東治安維持上危險分子ノ香港ニ於ケル阻止取締効行及(リ)場合ニ依リテハ香港ヲ中心トスル無電航空等ニ関連シ何等カ利便ヲ対象トスル財的援助等カト察セラル處(イ)ニ付テハ過般來廣東ニ於テ頓ニ鉄路改善計画唱道セラレ其ノ香港ニトリ有利ナル点高調サレ居ルコトニモアリ或ハ李來香ノ節商議ヲ見ルヘキカト予測セラル但シ總督ハ未タ李ノ政府ニ充分ノ信用ヲ置カス公使モ其ノ

前途ヲ危ムモノノ如ク本官ニ蔣李關係及李ノ将来ニ関スル所見ヲ尋ネ居タル等ニ微シ寧ロ他ニ人ナキニ付李ニ依ラムトスル体ノ接近振ニシテ恐ラク一般的親善交換ニ終ルモノカト思料セラル

北京、上海へ転電シ廣東、汕頭へ暗送セリ

764 昭和3年3月10日 在香港村上總領事より

田中外務大臣宛(電報)

クレメンチ總督・李濟深省長間会談内容について

香港 発  
本省 3月10日前着

往電(六三文書)  
第一五号  
第一二号ニ閲シ

一、總督李濟深間當地ニ於ケル会談ハ李ヨリ廣東統治上困難トスル点ニ付説明シ又南方政府ノ抱負ヲ述ヘ「アドバイス」ヲ求メ總督ヨリ種々質問助言セル由ニテ其ノ内容ノ詳細ハ總督ニ聞確メノ機会ヲ得サルカ話題廣汎ナルモ話合ノ程度ニシテ具体的交渉アリタリトハ認メ難シ

二、借款問題ハ李ヨリ申出アリタルモ政府側ニテ依然難色アリ成立ノ望無キモノノ如ク既ニ六日来当地支那人中李ノ旨ヲ受ケ眞面目ニ省銀貨百万弗鑄造供給方石油税担保五十万弗三箇月借款方等ニ付本邦銀行ノ引受斡旋ヲ本官へ申出ツル支那商アリ廣東政府カ外債融通ニ今猶腐心シ居ルヲ窺知スルニ足ル

三、二五税担保國庫券ノ当地流通方ハ當地支那商ノ「エキスペンス」ニテ財的援助ヲ為ス事トナリ實益上政府ニ不利ヲ及ホササルモ商民ニ於テ之ヲ引受クル望少ク又政府ニトリ幣制ノ主義上之カ承認面白カラサル次第ニテ恐ラク協定纏マラサルヘク又金融上左シテ有効ナラサルヘシ締ノ為巡邏艇ノ建造註文成立シ之カ代金ノ長期貸与方及廣東政府ニ依ル土匪海賊ノ掃蕩方ハ協定済ナリト云フ(海軍当局内話)因ニ最近粵漢線修繕用枕木荷動キ及商談アルモ鐵道借款團ニハ關係無シ

五、香港政府トシテハ今次省香間公式ノ和親ニ依リ既ニ三年ノ排英運動ヲ全然無条件ニ解決シ支那ヲシテ其遂ニ不当ノ妄動タリシヲ公認セシメ得タル訳合ニシテ更ニ此

ノ親善關係今後ノ増進及利用方ニ付慎重考量中ト認メラ  
ルル處英人実業家ハ意外ニ冷淡ニシテ市況モ爾ク好転セ  
ス又當地官憲中反対ノ私見ヲ洩ラスモノ無キニアラス直  
ニ何等好結果生スヘシト予期スルモノ稀有ナリ支那商  
民亦然リ

六、今次省香和親ニ当リ英國側ニ於テ日本ノ誤解乃至疎隔  
ヲ慮カリ協調上特ニ意ヲ用ヒソツアルハ前電御了知ノ通  
リニシテ又廣東側ニ於テモ未タ何等親英ニ依リ対日好感  
ヲ毀傷スルカ如キ氣配無シ要スルニ今次和親ハ李トシテ  
内政財政上对外和親ノ要ニ迫ラレ而モ積弊ヲ共産党ニ嫁  
スルノ好機ヲ掘ミ民力充実粵人統治ニ依リ其地歩ヲ確立  
セムトシ先ツ最モ遠カレル対英復旧ヲ図リ英國側トシテ  
ハ予テノ方針ニ依リ此機會ヲ逸セス将来ノ下地ヲ「ペイ  
ブ」セルモノニシテ問題ハ今後ニ在リト存スル次第ナリ  
為念

在支公使ニ転電シ上海、廣東ニ暗送セリ

765 昭和3年3月11日 在廣東森田總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

電(七六二文書)第二二号所報ノ不平等條約撤廢關稅自主問題其他ノ國權  
回収問題等ニ付テモ英國ノ援助ヲ求ムル下地ヲ作ル腹ナル  
事又想像ニ難カラス

同總督ノ行動委細公信

在支公使、上海ヘ転電シ香港、汕頭、南京、漢口ヘ暗送セ

リ

港總督演説について  
広東・香港間の交通通信機関改善に関する香

香 港 発  
本 省 3月13日後着

第一七号  
往電(七六三文書)第一二号ニ閏シ

766 昭和3年3月13日 在香港村上總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

在支英人ノ目的ハ通商ニアリ之カ為メ治安維持ハ李ニ信賴  
スル処（）粵漢線南北兩段工事完成方ハ香港政府モ亦望ム所  
ナルカ先ツ九広鐵道ノ大沙頭ト粵漢線ノ黃沙トノ間五哩ノ  
接続線建設方急務ニシテ之ニ依リ粵漢線ノ工事及収益上利  
スル所多ク然モ廣東黃浦ト香港ハ為ニ何等競争ニ陥ル謂レ  
無シ吾人ハ同「ルーブライン」ノ敷設及黃浦ノ浚渫ト改善  
ニ援助ヲ吝ムモノニアラス（）支那兩廣特ニ省香間ノ商用飛  
行ハ適切有益ナルニ付英支合弁兩廣内ノ商用航空会社ノ創  
立方ヲ提唱シ度ク（）又省香間其他ニ無電通信特ニ漢字ノ無  
電写真放送ノ發達ヲ望ムモノニシテ既ニ京奉間ニ其例アリ  
将又不当苛酷ノ課税ハ政府ノ收入ヲ増サス通商ヲ害スルノ

広州における香港総督歡迎振りについて  
廣 東 発  
本 省 3月11日後着

第二九号

香港総督「クレメンチ」ハ昨九日午前英國砲艦ニテ來広省

政府幹部ヲ始メ各界ノ盛大ナル出迎ヲ受ケ省政府ノ午餐会ニ臨ミ午後市内各所ヲ見物シ同夜李濟深主催ノ公式歡迎宴（本官貴電ニ依リ出席差控ヘタリ）ニ出席セルカ当日沿道ニハ數個ノ歡迎門ヲ作り武装兵約一間置キニ配置セラレ各主要地點ニハ軍隊ノ堵列又ハ軍樂隊ノ配置アリ市内各戸ハ命令ヲ以テ強制的ニ英支両国旗ヲ戸外ニ掲ケシメ違反者ハ罰金五弗ニ処セラル等其ノ歡迎振ハ殆ト狂氣ノ沙汰ニシテ対英經濟絶交當時ヲ追想スル時ハ過般英國公使來広以来ノ親英熱勃興ハ実ニ意外ノ感無キ能ハス

右ハ李濟深派ノ財政難ニ苦シメル余リ英國ニ頼リテ金策ヲ計ラムトスル下心ト省香親善ニ依リ廣西派ノ政治的地位ノ安固ヲ計リ又大袈裟ナル親英振ニ依リ地盤ノ安定ヲ中外ニ宣伝セムトスル野心ニ出テタルモノナル事明ラカナル処尚英國カ利権熱ト商権拡張ニ汲々タルニ乘シ好餌ヲ与ヘテ往

キ縁故有リ總督就任以來終始對粵和親ノ態度ヲ持続セシカ  
兩廣ノ政情改マリ此ノ親交ヲ見ルヲ喜フ旨ヲ答ヘ廣東市長

ミニ付外国商ハ現税ヨリ高率トナルトモ公正ナル課税ヲ支  
扱ヒ之カ<sup>(排ガ)</sup>廢除上支那当局ト協力スルヲ辞セサルナリ云々  
当地「ケイベン」局長無電技師等今十三日赴粵右ハ廣東政  
府ニテ(二)賛成シ詳細打合ノ為ミニシテ又九龍鉄道支那税  
関長十一日赴粵右ハ密輸入取締及不当課税改善方ニ付廣東  
当局ト打合ノ為ナリト云フ

在支公使、上海ヘ転電シ廣東ヘ暗送セリ

767 昭和3年3月14日 在香港村上總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

廣州における香港總督の演説内容に対する観察について

第一八号(七六六文書)  
往電(七六七号)ニ閲シ

香 港 発  
本 省 3月14日前着

總督ハ平素公開ノ演説ニ於テ好シテ理想的計画ヲ披露シ又  
決定的口調ヲ用ユル傾向有リ同電ノ(一)(二)ハ現実具体的ノ  
問題トシテ又本国政府ノ支持ヲ受ケテ李ト協議シ乃至實行

ミニ付外國商ハ現税ヨリ高率トナルトモ公正ナル課税ヲ支  
扱ヒ之カ<sup>(排ガ)</sup>廢除上支那当局ト協力スルヲ辞セサルナリ云々  
当地「ケイベン」局長無電技師等今十三日赴粵右ハ廣東政  
府ニテ(二)賛成シ詳細打合ノ為ミニシテ又九龍鉄道支那税  
関長十一日赴粵右ハ密輸入取締及不当課税改善方ニ付廣東  
当局ト打合ノ為ナリト云フ

在支公使、上海ヘ転電シ廣東ヘ暗送セリ

767 昭和3年3月14日 在香港村上總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

廣州における香港總督の演説内容に対する観察について

第一八号(七六六文書)  
往電(七六七号)ニ閲シ

香 港 発  
本 省 3月14日前着

總督ハ平素公開ノ演説ニ於テ好シテ理想的計画ヲ披露シ又  
決定的口調ヲ用ユル傾向有リ同電ノ(一)(二)ハ現実具体的ノ  
問題トシテ又本国政府ノ支持ヲ受ケテ李ト協議シ乃至實行

方協定セシ結果ナルヤ共ニ稍々疑ハシク且(一)ハ当地ノ繁榮  
上必須ナル粵漢九広連絡ヲ差当リノ目的トシ而カモ其ノ間  
廣東側希望ト提携セソモノトモ認メ得ヘク又(二)(三)ハ支那側  
ニ「アッピール」セサル嫌有リ恐ラク今後ノ交渉ノ為及好  
意表示ノ一端トシテ言及シ又啓発連絡ノ意味ニテ技師等ヲ  
赴粵セシムルモノカト推察セラル但シ(二)ニ付テハ廣東側ニ  
於テ既ニ飛行場モ有リ軍用飛行機ノ増備ニ熱心ニシテ最近  
米国ヘ四台註文セル噂有リ他面当地ニ於テ隨時報告ノ通軍  
用設備有リ商用飛行唱道セラレ英國極東航空路計画漸次進  
捲中ノ事ニモ有リ又(三)ニ付テハ省香間無協定ニシテ接受ノ  
都度便宜受信局独自ノ取計トシテ配達シ二重ニ料金ヲ徴ス  
現状ヲ改メ兼テ支那一般無電問題ニ基礎ヲ作ラムトスル  
意図無キニ非サルヘク尚(一)ニ付テモ往電第二号(二)ノ成リ行  
モ有リ過日廣東筋情報トシテ當地漢字新聞ニ現ハレシ七千  
万弗借款説ノ如キ粵漢九広連絡線ノ条件応諾セラル限リ  
粵漢線南段ノ完成ト黄埔改修ノ為格段のニ大口ノ借款ヲ敢  
テスル事無キヲ保セス旁々注意ヲ怠リ難シ

在支公使ヘ転電シ上海、廣東ヘ暗送セリ

第三三号

768 昭和3年3月24日 田中外務大臣より  
在英國松井大使宛(電報)

中國側の暫行付加税および關稅自主權実施を許容するかわりに海關制度維持を求める英國の對中國政策について

本省 3月24日後6時20分発

英國側ハ大正十五年末ノ對支新政策覚書以来全支那ニ對スル諸政策ノ基調ヲ之ニ置キ現ニ最近ノ例ニ鑑ミルモ賑災付加税ニ関シ從来反対ノ態度ヲ持シ來レルニ拘ラス客年末ヨリ其態度ヲ軟化シ之カ承認ニ傾キ居レル処最近同國ノ對支政策中特ニ注意ヲ要スルハ其對南方策ナリ即チ

一、「ランブソン」公使ハ二月一日北京発二十三日廣東ニ到ルヤ予テ交渉員朱兆莘及英總領事間ニ保持セラレタル親善關係ハ俄然トシテ濃厚トナリ次テ三月二日「ラ」香港發北上ニ當リテハ李濟深ハ見送リノ為廣東ヨリ香港ニ到リ続イテ正客トシテ總督官邸ニ滯在シ更ニ總督ハ答礼トシテ九日廣東ニ到リ支那側ヨリ大歓迎ヲ受ケタル等三ヶ年来ノ廣東地方排英色彩ハ一朝ニシテ趣ヲ變シ英支關係極メテ親密

現ニ英國側ハ華府軍制條約乃至對支海軍拡張不援助協定ニ關係スルモノナルコトヲ承知シ居レルニ拘ラス廣東政府ノ注文ヲ引受ケ海賊討伐用ノ武装小型「スチーム・ランチ」四隻(中大ナル方二隻ハ各二百二十噸ニシテ供給武器ハ六封度砲二門、諸種機関銃三十四挺、小銃六十挺、「ピストル」二十挺、右諸砲ノ弾丸計數四十萬個)ヲ香港ニ於テ建造中ニテ本件ハ日下北京ニ於テ關係國間ニ問題トナリ居レリ

二、「ラ」公使ハ目下上海ニ在リテ廣東同様盛ナル歓迎ヲ受ケ英支關係改善ニ努メ居リ南京事件ノ如キモ速ニ解決シタル上總領事ヲ帶同シテ南京ニ国民政府ヲ訪問セムト焦慮シツツアルコト往電合第五五号ノ通ナリ

三、總稅務司代理「エドワーズ」ハ「ラ」同道北京發關稅

問題並海關制度ニ關シ南京側ト商議ヲ重ネ二月二十八日帰  
燕シ引続キ南北當路ノ間ニ盛ニ奔走ヲ試ミ居レルカ英國側

ハ結局殆ト無条件ニテ支那ニ暫行付加稅及關稅自主ノ実施

ヲ許容スル代リニ海關制度ノ維持ニ全力ヲ尽シ居レルモノ

ナリト認メラル

米、仏各大使ニ転電シ伊、白、独、露ヘ暗送アリ度

769 昭和3年3月26日 田中外務大臣より  
在英國松井大使宛（電報）

昭和3年3月26日 田中外務大臣より  
在英國松井大使宛（電報）

最近の英中關係に関する英外相所見回電方訓

令

本省 3月26日後3時15分発

第三四号

支那ノ最近狀況ハ往電第三二号及(七六八文書)第三三号ノ通ナル處貴官  
ハ最近ノ機會ヲ捕へ故意トランカラサル方法ニ於テ支那殊  
ニ南方政權ニ對スル外務大臣ノ所見ヲ叩カレ尚ホ暫行付加  
稅、自主權等ノ關稅問題及之ニ關連スル海關制度ノ問題等  
ニ關スル英國ノ態度ニ關シテモ充分懇談ヲ遂ケラレ結果回

電アリ度

御参考トシテ在米大使ニ転電アリ度

770 昭和3年6月21日 在米國沢田臨時代理大使より  
田中外務大臣宛

中國問題につきジョンソン米國國務次官補と  
会談について

機密公第三四七号 昭和三年六月二十一日  
（7月13日接受）

在米

臨時代理大使 沢田 節藏（印）

外務大臣男爵 田中 義一殿

支那問題ニ就キ「ジョンソン」次官補ト会談ノ件

支那時局ニ對スル當國ノ一般情勢ニ關シテハ隨時及報告置  
タル處過般來滯華中ナル伍朝枢ハ國民軍ノ京津地方奪取ニ  
勢ヲ得當國各方面ニ對シテ國民政府ノ為ノ啓發運動ニ努メ  
居ル模様ニテ伍ノ言動及ヒ新聞記者會見談等々新聞紙上  
ニモ掲載セラレ居リ殊ニ六月十五日ノ新聞ハ施肇基ノ南方  
政府代表者就任ヲ報スルト共ニ支那ハ今ヤ民衆的意味ニ於

一、施肇基ノ國民政府代表問題

ケル新民族トナリタレハ米國ハ率先シテ國民政府承認及ヒ  
不平等條約ノ改訂ヲ行ヒ支那ニ對スル同情ヲ表示スヘキナ  
リトノ伍朝枢ノ談話ヲ引用シ右承認問題ニ關シテハ伍ハ施  
肇基ヲシテ交渉ヲ開始セシムヘク又改約問題ハ伍今次ノ來  
米使命中ノ最重要ナルモノナレハ彼自ラ商議ヲ開始シテ之  
ヲ手土産ニ帰國セントスル所存ニシテ國務長官モ此等問題  
詮議中ナリト為シ又國民政府ハ諸官庁ノ南京移転ヲ開始シ  
タルヲ以テ米國公使モ同地ニ移転スルニアラサレハ北京ニ  
取残サル形トナル等一般読者ニ對シ米國ニ於テハ恰モ此  
等諸問題ニ付支那國民政府ト早速商議開始方ヲ考慮シ居ル  
モノナルカ如キ印象ヲ與フル記事掲ケ居リタリ旁々此際前  
記問題ニ對スル國務省ノ意向ヲ確メ置クコト可然ト思料シ  
十六日國務省ニ「ジョンソン」次官補ヲ往訪シ懇談ヲ重ネ  
タリ

右ニ關シテハ既ニ往電第二二一号ヲ以テ概略報告済ナルモ

同電補足旁々同日ノ會見要領別記ノ通り報告ス

本信写送付先 在英、仏、伊、獨、露、白各大使

別記

二、支那首都移転問題

本問題ニ關シテハ「ジョン」氏ハ曾ツテ伍朝枢ヨリ同氏ニ對  
シ米國側ノ意向ヲ探ラントスル所アリタル際右ハ支那側ニ  
於テ自ラ決定スヘキ事柄ナリト答ヘ置キタル旨ヲ談リ尚

「ジョン」氏自身ノ考トシテ首府カ南京ト確定シタル場合公

使館モ亦共ニ南京ニ移転スヘキヤ否ヤノ問題ハ国民政府今後ノ地位安定振如何ニ依リ決定スヘキモノナルカ土耳古ノ「アンゴラ」ニ於ケル事例モアリ又当國ニ於テモ夏期中英独仏等ノ各国大使館ハ北部地方ニ移転シ外国使臣ノ駐在地ト首府トハ常ニ一致シ居ラサル例モアル次第ナルカ前記各国大使館カ夏期中移転スルコトハ事務遂行上不便ト感スルコト少カラス殊ニ南京北京間ノ距離モ遠ク且ソ日米両国ノ如キハ支那政府トノ交渉事項繁多ナレハ公使館カ北京ニ踏止マル場合ノ不便ハ充分ニ予想セラルト述ヘテ国民政府ノ地位安定スルニ至ラハ公使館ハ結局右政府所在地ニ移転セサルヘカラストスルカ如キロ吻ヲ示シタル後日本側ノ意向ハ如何ト反問シタルニ付本官ハ右ニ就テハ未タ何等知ル所ナキモ恰モ本朝入手セル電通社ノ新聞電報ニ依レハ北京ノ事情ハ大体急速ナル政府ノ南京移転ヲ不可能トシ居リ同地ニテハ列国ハ南京ニハ總領事位ヲ派遣スルニ止マルヘシトノ観測行ハレ居ル模様ナリトノコトナリトテ右新聞電報ノ趣旨ヲ述ヘタル處「ジョ」氏ハ何レニセヨ国民政府今後ノ様子ニ依リテハ總領事ニテハ不充分ニテ夫レ以上ノ資格ノモノヲ派セサルヘカラサルヘシト考フルモ右ハ何ニスル

米国領事ヨリ電報アリタルカ右果シテ然ラハ張学良楊宇霆等ハ南方トノ間ニ相当諒解アル人物ノ如ク聞キ居ルニ付相互通ニ平和的時局解決ノ策ヲ講スルナラント察セラル從テ自分当座ノ感シトシテハ今日迄支那擾乱ノ一大禍因タリシ張作霖ノ没後ハ支那ハ大体統一ノ機運ニ向フニアラスヤト思ハルト述ヘタリ依テ本官ハ共同ノ敵ヲ失ヒタル国民軍ノ将领ハ反ツテ互ニ内訌ヲ繁クスル虞アルニ非ラサルヘキカト問ヒタル処然ルコトナシトハ申シ難キモ南方ノ主張ハ大衆ノ支持スル所ナルノミナラス前記自分ノ想像ノ如ク大勢進展スルモノト仮定セハ群将間意見ノ相違モ此ノ大勢ニ押サレ何ントカ纏マリヲ付ケ得ルナラントモ察セラレ從ツテ国民政府ハ漸次安定ノ傾向ニアルニアラスヤト考ヘラルル次第ナリ果シテ然ルニ於テハ承認及ヒ改約ノ問題モ或ハ早晚慎重考慮ノ時期ニ達スルモノトモ考ヘラルニ付之ニ対シテハ予メ準備シ置ク必要アリト存シ居レリ然シテ條約改訂ハ關稅問題トノ関係モアリ支那側ニテ一般ニ切望シ居ル次第ニ付キ承認問題商議以前ニ之カ討議ニ着手スルカ如キ形勢ニ立チ到ルヤモ計リ難ク旁々準備ハナシ置カサルヘカラスト談レリ

926

モ即急ノ問題ニモアラス国民政府安定ノ見据ヲツケタル上ニテ考慮決定モ可然シ尤モ米国政府ハ先般南京事件解決後直チニ復帰セシムル筈ナリシ同地領事モ今春以来時局不安定ノ為其儘ト為シ居ル次第ナルカ之レ丈ケニテモ不遠赴任セシメ度キ所存ナリト談レリ

### 三、承認問題ト条約改訂問題

此等問題ニ関シ最近ノ新聞報道ニ依レハ米支両国ノ商議開始近キニアルヤノ印象ヲ与フルモノアルカ如何トノ問ニ對シ「ジョ」氏ハ右ニ付テハ米国政府トシテ未タ具体的ニ考慮ヲ加ヘ居ル次第ニアラストテ右新聞記事ヲ否認シ右両問題モニニ国民政府ノ基礎確固タルヘキヤト否ヤニ懸ルモノナリト述ヘタルニ付キ客年一月「ケロング」長官声明ノ方針ニハ今尚変化ナキコトト承知スル處支那目下ノ形態ハ右声明ノ趣旨ニ依ル商議開始ノ時期ニ到レルモノ認ムルヤト問ヒタル處「ジョ」氏ハ右声明ノ方針ニハ変リナキモ現下ノ状勢ヲ以テ直ニ右時期到来セルモノト認ムルコト不能ト答ヘ支那ノ将来ノ事柄ニ関シ予言スルハ頗ル危険ニシテ到底確言スルコト能ハサルモ張作霖ハ死亡セルモノト認メラレ近ク張学良其後繼者トシテ公表セラルル筈ナル旨在奉天

771 昭和3年7月31日 在英國佐分利臨時代理大使より  
田中外務大臣宛（電報）

下院における中國問題に関するチエンバレン  
外相の答弁について

ロンドン 7月31日 発  
本省 8月1日前着

第一五四号

三十日下院本会議ニ於ケル支那問題ノ質問ニ対シ外相ハ米国ハ何等他国ト相談セスシテ対支覚書ヲ送リ又條約ヲ締結シタルモノナルカ英國トシテハ諸國ニ先シテ事ヲナサンシタルモノニ非ス既ニ対支政策ノ大綱ハ之ヲ公表シアレハ南京事件サヘ片付ケハ直ニ右大綱ニ依リ商議ヲ開始スル事ヲ得ヘシ南京事件ニ付テハ最近国民政府側ヨリ上海及南京總領事ニ新ニ商議シ来レル處アリ且下折角交渉中ナリト答弁シタルカ同院予算委員会ニテモ同様ノ質問アリ之ニ對シ外相ハ国民政府トノ交渉ハ南京事件ノ解決ヲ以テ開始セラル可シ支那ニ於ケル生命財産安固トナリ且ツ文明國家トシテモ義務ヲ履行スルノ能力アル政府ノ樹立ヲ待チテ旧条

約ヲ新時代ニ適応スル様改訂シ以テ支那ノ要望ニ副ハシ用意アル事及在支軍隊モ近ク之ヲ更ニ減少スルノ望アル事等ヲ説示シタルカ同委員会ノ一員ヨリ日本ノ対満干渉ノ問題ニ言及セルニ対シテ「滿州ハ全ク支那ノ一部ナリト認ム日本カ此ノ地ニ多数ノ自國住民ヲ有シ大ナル利害關係ヲ有スル事ハ之ヲ認ム日本トシテハ之等住民ニ利害ヲ感シ居ルハ責憂慮ヲ有スルハ尤モナラン但シ吾人ニ利害ヲ感シ居ルハ責任ヲ果シ得ル單一政府ノ下ニアル統一セラレタル支那ニシテ之ト友好關係ヲ商議セン事ヲ欲スルモノナリ」ト答弁セリ

米国ニ転電シ仏、独、白、伊、露、蘭、西、連盟、瑞典ニ郵送セリ

772 昭和3年8月16日 田中外務大臣より 在米國澤田臨時代理大使宛（電報）

国民政府承認問題につき米国政府の意向確認

方訓令

本省 8月16日後発 第一九三号

昭和3年8月18日 在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛（電報）

国民政府承認問題に関し一切の意見表示を差止められている旨の米国公使館參事官の談話について

北 京 発 本省 8月18日後着 第一二一九号 貴電合第三二二号ニ閲シ

十七日米国參事官ハ往訪ノ堀ニ對シ最近ノ米支開港通商條約締結ハ南京ノ正式承認ヲ意味セサルヤ若シ然ラストセハ米国ノ正式承認ニ閲スル意向如何トノ疑問ハ余程各國ノ注意ヲ惹ケリト見ヘ盛ニ質問受クル處ナルカ最近廣東ノ某弁護士カ訴訟上ノ必要ヨリ米支關係ノ法律的地位ニ閲スル米國政府ノ「ステートメント」ヲ得度シト申出タルニ依リ國務省ニ請訓シタルニ対シ承認ニ閲連スル一切ノ問題ニ閲シ意見表示ヲ差止メ來リタルニ依リ是等外部ヨリノ質問ニ對シテハ其ノ趣旨ニテ應接シ居ルモ實際ノ狀況ニ付テ言ヘハ米国

先般仏國大使吉田次官ヲ來訪シ同國政府ハ在米大使ニ訓令シ同國政府ニ於テハ國民政府承認 de jure recognition 問題ニ付華府條約主要關係國カ同一歩調ヲ取ルヲ適當ト思考シ居ル處米國政府ノ意向如何又若シ米國政府ニシテ右ヲ不可トスルナラハ同政府ハ如何ナル時期ニ承認ヲ与ヘントスルモノナリヤニ付米國政府問合サシメ居ルカ日本政府ニ於テモ列國ノ歩調合ニ関シ仏國政府ト見解ヲ同フセラルルヤ否ヤ若シ之ヲ同シクセラルニ於テハ同様ノコトヲ米國政府ニ問合サル考ヘナキヤト申出アリ十四日本大臣ヘモ同様ノ申出アリタルニ付適當ノ機會ニ之ヲ問合セ見ルヘシト答ヘ置キタルカ同日午後米國代理大使ト會見ノ節同代理大使ニ對シ仏國大使ノ申出ノ次第ヲ指摘シ右申出ハ本大臣モ至極尤モトスル所ナルニ付序テノ節 de jure recognition 問題ニ關スル本国政府ノ意向ヲ照会セラレ度キ旨申入置キタリ就キテハ右御含ミノ上適當ノ機會ニ仏國政府ノ申出ヲ支持スル意味合ニ於テ本問題ニ關スル米國政府ノ意向御突トメノ上結果回電相成度シ  
英ヘ転電シ英ラシテ仏、伊、独、白ニ転電セシメラレタシ連盟帝國事務局及杉村公使ヘ転電セシメラレタシ

774 昭和3年8月19日 在英國佐分利臨時代理大使より 田中外務大臣宛（電報）

英國は南京政府の承認を急がず暫く中國政情を注視する旨のウェルズレーの談話について

ロンドン 発 本省 8月19日前着 第一七三号 在米大使宛貴電(七七一文書)第一九三号ニ閲シ

往電(七九一文書)第一七二号「ウェルズレー」ト談話ノ際同氏ハ米國カ急速ニ南京政府ヲ承認セサル様米國政府ニ申入ノ件ニ付仏國大使來談ノ際同大使ニ對シ今更米國ニ右ノ如キ申入ヲ為スハ其ノ時期遅キニ失ス米國ハ批准ヲ要スル正式條約締結ニ依リ既ニ南京政府ニ法律上ノ承認ヲ與ヘタルモノナリ若

シ本件カ海牙裁判所ニ持出サルトセハ右ノ解釈ヲ採ルヘキコト一点ノ疑無シト述へ置キタリト内話セリ又「ウ」氏ハ仏国大使ニ対シ南京政府承認ノ問題ニ付テハ英國政府ハ毫モ急カス成ル可ク此ノ問題ヲ遷延セシメテ支那ノ政状如何ヲ注視スルノ必要ヲ感シ居レリ從テ此ノ点ニ付テハ全ク日仏両国ト同意見ナルコトヲ述へ置キタルコトヲモ内話セリ併、伊、独、白、連盟事務局及杉村公使ニ暗送セリ

775 昭和3年8月19日 在米国沢田臨時代理大使より  
田中外務大臣宛(電報)

#### 国民政府承認に関する米国側の見解について

ワシントン 8月19日前着 発

第二八九号

貴電第一九三号ニ閲シ

國務長官十七日出發渡仏ノ途ニ就キタルヲ以テ同日「ジョソン」次官補ニ面会シ御訓令ノ趣旨ヲ体シ米国側ノ意向ヲ質シタル處同氏ハ本件ニ付テハ過日仏国代理大使ヨリ同様ノ申出アリ其ノ際國務長官ハ米国ハ外國政府ノ承認ハ立

法部ノ同意ヲ待ツコト無ク大統領自身之ヲ為シ得ル次第ニテ既ニ本年三月南京事件取極ノ成立ノ際大統領ハ右権能ニ基キ国民政府ニ対スル「デ、ファクト」ノ承認ヲ為シタルモノトシ次テ先月關稅條約締結ヲ以テ「デジユレ」ノ承認ヲ与ヘタルモノト思考シ居ル旨回答シタルカ其ノ後仏側ヨリ何等申出無シト述へタルニ付本官ヨリ「デジユレ」ノ承認ハ条約ノ批准ヲ待ツ要無キヤ又支那側ニ於テハ既ニ右承認ヲ得タルモノト諒解セシメラレ居レリヤト尋ネタル処「ジョ」ハ「デ、ジユレ」ノ承認ノ時期ニ付テハ種々議論有ランモ米国政府トシテハ行政部ノ一存ヲ以テ承認ヲ行ヒ得ルモノト為シ居ルニ付批准ノ有無ニ拘ラス條約調印行為夫自身ニテ正式承認ヲ与ヘタルモノト為シ居レリトテ熟慮ノ結果右見解ヲ執ルコトト為シタルカ如キ印象ヲ与ヘ尚「デ、ジユレ」ノ承認ハ相手方ニ正式ニ之ヲ通告スル必要アリヤニ閲シ兎角ノ説アルモ自分トシテハ其ノ必要無シト思考シ数日前長官ニモ相談シタルカ長官モ本件ハ暫ク其ノ儘ニ為シ置クヘントノ考ナリ唯先般在米支那公使ヨリ質問アリタルニ付前記承認ニ閲スル米国政府ノ見解ヲ告ケ置キタルカ他日列國政府カ支那ニ對シ承認ノ正式通告ヲ為ス様

ノ運トモナリ同一歩調ニ出ツルコト適當ナリトスル場合ニハ米国トシテハ實際上既ニ「デ、ジユレ」ノ承認ヲ与ヘタルモノト為シ居ル儀ニ付右通告ニ當リ歩調ヲ一ニスルコト困難ナルヘシト思考スト述ヘタリ

英ニ転電シ英ヲシテ仏、伊、独、白ニ転電セシメ仏ヲシテ連盟及杉村公使ニ転報セシム

776 昭和3年9月18日 在上海矢田總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

日本国内での王外交部長に対する反発が高まつてある折柄王との会見には応じられない旨  
周龍光へ説明について

上 海 発  
本省 9月18日着

第六三四号

十七日周龍光ヨリ電話ヲ以テ上海ニ来レルニ付用件ハ無キモ敬意ヲ表シ度シトノ申出アリ十八日午前官邸ニテ面会セルニ周ハ王正廷ハ昨夜南京へ帰ル予定ナリシモ今朝自分カルニ訪問スル事トナレリト聞キ俄ニ出發ヲ見合セ何処カ貴下ヲ

人トシテノ面会ハ何時ニテモ喜ンテ致スヘキモ実ハ本官帰朝ノ際国民政府ニ対シ本官ノ了解セル処並ニ王部長ノ本官ニ語レル処ヲ披瀝シテ真相ヲ報告シタルカ一部ヨリハ余リニ南京政府ノ立場ニ好意ヲ表ストテ非難ヲ受ケタルコトモ御承知ノ通ナリ本官ノ此ノ努力ノ最中突如王部長ノ「ステートメント」トシテ濟南事件ヲ國際連盟ニ持出スヘシトノ上海來電發表サレ次テ上海ニ於ケル日本人ニ臨時弁法ヲ適用ストノ記事大々的ニ報道セラレ自然我カ朝野ノ空氣ヲ緊張セシメ延ヒテ本官ノ立場ヲ極メテ機微ナル境地ニ陥ラシメタリ

ル意向ヲ本官出発ニ際シ内訓セラレタル次第ハアルモ本官トシテハ帰任早々王部長ニ面会スルコトヲ差控ヘサルヲ得

サル事由モ王部長ニ於テ思半ニ過クルモノアルヘント信ス

此ノ本官ノ苦衷ハ王部長ニ伝達セラレタシ尤モ右ハ公務上

ノコトニテ私人トシテハ会见スルコト一向差支無キ次第ナ

ルモ目下上海ノ内外新聞記者ハ本官ノ行動ヲ厳密ニ注視シ

居リ其ノ中ノ一人ノ如キハ要所要所ニ「スペイ」ヲ配置シ

タリト本官ニ自白セシ程ナリ故ニ若シ王部長ト会食セムカ

夫レヲ單ナル友人トシテノ会食ニ過キストモ直ニ新聞特派

員ニ嗅付ケラレ揣摩臆測ヲ付会シテ東京ヘ打電セラルヘシ

両国ノ為極メテ不利ナル結果ヲ惹起スヘシト告ケタル処周

ハ國際連盟ヘ提出云々ノ件ハ事實其ノコト無シ新聞記者カ

大袈裟ニ報道スル為誤解ヲ生スルナリ臨時法院並ニ上海地

方法院ニ於ケル事件ハ全然外交部ノ知ラサル処ナリトテ岡

本領事發閣下宛電報第四四八号ノ如キ弁明ヲ繰返シタリ

次ニ周ハ差等税率実施ニ付列国ハ大体賛成セルカ日本政府

ノ意向如何ト質問セルニ付在支公使發閣下宛電報第一三〇

四号ノ趣旨ヲ答へ置ケリ

中国問題に關するジョンソン國務次官補との  
私的会談について

ワシントン

発

本 省 9月21日後着

777 昭和3年9月21日 在米国沢田臨時代理大使より  
田中外務大臣宛(電報)

### 第三二二号

(<sup>1</sup>)十九日「ジョンソン」次官補ト支那問題ニ関シ私談の二種々談話ヲ交フル機會ヲ得タルカ其ノ際同次官補ハ

ヨリ介入スヘキニ非ストノ思想強ク從テ支那問題ニ付テ

モ列国側ニテ右思想ニ反スルカ如キ対支態度ヲ採ル場合

米国輿論カ之ニ釈然タラサルモノアルハ当然ナルカ夫ト

同時ニ米国人力ア細亞ニ於テ特ニ日本カ支那就中満州ニ

対シ地理上、經濟上密接ナル關係ヲ有スル事殊ニ日本ト

シテハ将来工業立國ノ外無ク之カ為支那ノ富源及市場カ

極メテ必要ナル事ハ同情ヲ以テ之ヲ認メ從テ日本カ支那

ノ和平ヲ希望スル事最モ切ナルモノアル事ハ之ヲ了解シ

来リ居ルモノト認メラル只如何ニシテ右治安維持ノ  
ヘタル上吳佩孚、奉天、安福派、廣西派等ノ間ニ国民軍討伐ノ陰謀進行中ニテ該陰謀ハ十月ヲ期シ勃発スヘシトノ旨掲載セラレ居リタル處「ジョンソン」ハ右ニ言及シタル上自分等ノ入手シ居ル報道中ニハ右諸説ヲ首肯セシムヘキ点ナク旁容易ニ之ヲ信シ難ク恐ラクハ本件通信ハ大連辺ニ居ル亡命支那政客ノ宣伝等ニ影響セラレタルモノト思考ス惟フニ今ヤ支那ハ共和樹立以來最和平ノ曙光ヲ認メシムル事態ニアリ右内訌及反感等ノ存スルコトハ事実ナルヘク何人ト雖モ支那将来ニ関シ確信アル予言ハ為シ得サルモ米国独立當時ノ経験ニモ顧ミ何トカ治マリ行クニハアラサルカト考ヘ居ル次第ニテ若シ不幸ニシテ此ノ機会ニ同國ノ和平統一ヲ招来シ得サルニ於テハ支那ハ将来永年ニ亘リ混亂狀態ヲ続クルノ外ナカルヘキニ付此ノ際外部ヨリモ出来得ル限り同政府ヲ確立セシムル様仕向クルコト希望セラル次第ナリト述ヘタリ依テ本官ヨリ改約問題ニ言及セル処同氏ハ米国トシテハ前述ノ所信ニ基拠シ曩ニ成立セル関税條約ヲ手始メトシテ漸次他ノ改約問題ヲモ片付ケ出来得ル丈早ク米支間ノ關係ヲ正常状態ニ置キ度キ考ニテ治外法権ノ件ハ頗ル難問ナルモ

(脱)ヘキカハ問題ナリトテ若シ孰レカノ國カ我對支方針實行ノ方法如何ニ依リテハ米國輿論平靜ナル能ハサルヘシト謂フカ如キ口吻ナリシニ付本官ハ日本ハ滿州ニ対シ單ニ經濟上ノミナラス歴史ト国防上又極メテ痛切ナル關係ヲ有スルコトヲ指摘シ尚本年五月日本政府カ南北両軍ニ対シ為シタル声明ノ如キハ全ク同地方ノ治安ヲ切望スル結果ニ外ナラスト述ヘタル処同官ハ右歴史上及国防上ノ点ニ付首肯スルト共ニ日本政府カ該聲明ヲ發セラレタル趣旨ハ既述ノ通ナルヘキモ実ハ當時自分ハ万一日日本側ニ依ル支那軍隊ノ武装解除實現センカ更ニ延テ種々困難ナル事態ヲ惹起スルコトアルヘク一面當国民間ニハ右日本政府ノ声明ニ對シ國務省ニテ何等カノ措置ヲ執ルヘキヤ質問シ來リシモノ少カラス

(2)右武装解除實現ノ場合ノコトニ就テハ衷心頗ル憂慮シ居リタル次第ナルカ幸事效ニ至ラスシテ終リタルハ誠ニ仕合ナルコトナリト述ヘタリ

二、恰モ同日朝刊行ノ紐育「タイムス」紙上ニ「アーベンド」ノ大連通信トシテ国民政府ニ對スル一般民衆ノ失望並ニ同政府ノ内訌、諸將領ノ馮玉祥ニ對スル反感等ヲ正

之トテモ何トカ方法ナカルヘキヤ目下銳意考究中ナリト  
述ヘタルニ付米国トシテ此ノ際直ニ右改商議ニ着手ス  
ルカ如キコトナキヤト尋ネタルニ夫レハ何トモ申シ難キ  
モ適当ノ時機タニ到来セハ成ルヘク早目ニ之ヲ行ヒ度キ  
考ナリト答ヘタリ

三、将来同氏ハ在南京米國領事館ハ目下折角修繕中ニシテ  
支那側ニテハ右開館ノ際儀式ヲ行ヒ度シトノ希望モアリ  
旁未タ確定セサルモ多分九月二十五日頃ニハ開館ノ運ト  
ナルヘク從来上海總領事館ニ於テ專ラ南京事件交渉ノ事  
務等ニ從事シ居リタル（脱字）領事トシテ赴任スヘシト述  
ヘ居リタリ

英ニ転電シ英ヲシテ在欧各大使、蘭、西、瑞典及寿府ニ暗  
送セシム

778 昭和3年10月4日 田中外務大臣より  
在上海矢田總領事宛（電報）

関税問題および濟南事件等に関する張群との  
会談内容について

本省 10月4日後4時30分発

779 昭和3年10月(9)日 田中外務大臣より  
在上海矢田總領事宛（電報）

王外交部長との接触再開について

コトヲ希望スル旨繰返シ英米トノ関係ハ益々好転シ独逸ト  
モ先頃新條約ヲ締結シ伊国トハ南京事件ヲ解決シ国民政府  
対列国関係ハ着々發展シツツアル際独リ隣邦日本トノ関係  
ノ現状ノ如クナルハ慨嘆ニ堪ヘス若シ矢田總領事懸案ニ付  
会見ヲ求メラルレハ唯今直ニテモ交渉スル準備アリト述ヘ  
大体ノ様子得意ノ態ナリシ由

第七〇七号 上海 発  
本省 10月9日後着

王正廷ト本官トノ連絡ハ往電第六三四号周龍光ニ対スル本  
官ノ伝言以来何等新ナル接觸無キ處王ハ其後訪問者ニ対シ  
本官カ他ノ国民政府ノ要人ト会見シ乍ラ王トノ会見ヲ避ケ  
居ルハ日本政府カ自分（王）ヲ排斥シテ黃郛ノ起用ヲ計リ  
ツツアルカ為ナルカ黃ヲシテ辞任セサルヘカラサル破目ニ  
陥ラシメタル者ハ日本政府自身ニ非スヤ黃郛タル者進ンテ  
此ノ陰謀ニ乗セラレ躍リ出スカ如キ目先ノ見エサル人物ナ  
ラス云々ト語リ僻ミ居レリトノコトナルカ他方五院制度成  
立スルモ王ノ地位ハ強テ動搖スルモノトモ思ハレサリシニ  
付昨夕王來滬ノ機会ヲ捕へ船津ヲシテ王ヲ訪問セシメ本官  
カ本官上京中王ノ措置ニ付失望シタルハ事實ナルカ其ノ後

模様ヲ觀ルニ濟南事件ヲ國際連盟ヘノ提出モ實現セス臨時  
弁法適用事件モ有耶無耶ニ葬リ去リタル等ノ誠意ヲ認ムヘ  
キモノアルニ依リ本官ハ王ニ対シ好感情ヲ回復セル旨伝達  
セシメタルニ王ハ好ク本官ノ立場ヲ了解シ居レリト述ヘ日  
本政府カ国民政府ヲ正シク理解スルコトノ一日モ早カラム

## 第二五七号

往電第二三八号ニ閏シ

張群五日神戸発上海丸ニテ帰滬ノコトトナレルカ同人ニ對  
シテハ條約問題及濟南事件ニ閏スル帝國政府ノ態度ハ既ニ  
決シ居レルモ現在ノ狀況ニテハ何人ヲ相手トシテ交渉スル  
ヲ適當トスヘキカ見当付カサル次第ニ付交渉ヲ見合セ居ル  
次第ナレハ帰滬ノ上蔣介石トモ相談シ右ノ点ニ閏シ何分ノ  
儀貴官ヘ通知スル様申入レ置キタルニ付往電第二三三号訓  
令ノ執行ニ付キテハ右通知ヲ參照シ然ルヘク御措置アリ度  
尚張ニ付シ五院制度確立ノ上ハ建設時代ニ入ルモノトシテ  
帝国政府ハ出来得ル限リノ援助ヲ答マサ（元脱力）決心ナル事ヲモ申  
聞ケ又東三省問題ニ付キテモ腹感ナキ意見ヲ開陳シ置キタ  
リ尤モ東三省問題ニ付キテハ貴官ヨリハ何等意見ヲ表示セ  
ラレサル様致度シ

\*  
合第三九五号

780 昭和3年10月13日 田中外務大臣より  
在上海矢田總領事宛（電報）

我が方对中国方針を駐日英國大使へ説明につ  
いて

本省 10月13日発

十二日本大臣ヨリ英國大使ニ対シ左ノ趣旨ニ依リ我對支態  
度ヲ説明シ尚米國大使ニ対シテハ同日左記一ノ趣旨ノミ話  
シ置ケリ

一、今ヤ国民政府組織法確定シ政府主席及委員並五院々長  
モ決定シ五院制度ノ設立ヲ見タル次第ニテ右ハ勿論過渡

的制度タルヲ免レスト雖兎ニ角国民政府組織ノ完成ニ向  
ツテ一步ヲ進ムルモノト云フヘク殊ニ今回決定セル政府  
幹部ノ顔触ハ左傾派ヲ排シ穩健派ヲ中心トシ実力者ヲ網  
羅シ政府ヲ健実ナル基礎ニ置カムトスルモノノ如ク從テ  
此等首脳者ニシテ誠心協力セハ同政府ノ基礎漸次堅キヲ  
加フヘシト思考ス之ハ支那人ノ為メ甚タ賀スヘキ所ニシ  
テ列国トシテモ同政府カ益々基礎ヲ固ムル様之ニ同情ト  
援助トヲ与フルコト肝要ナリト認ム

二、通商条約問題其ノ他日支間懸案ニ付テハ国民政府ノ態  
度ニ不当ナルモノアリシノミナラス同政府ノ基礎確立シ  
居ラサリシ関係ヨリ暫ク停頓ノ状態ニ在リタルカ帝国政  
府トシテハ速ニ此等懸案ノ解決ヲ希望シ居ル次第ニテ五  
院制度ノ確立ニ依リ国民政府ノ基礎堅マントスルニ至  
レル此ノ際同政府ノ出様次第ニテ或ハ近ク条約問題、濟  
南事件等ニ付交渉ヲ開始シ得ルニ至ランカト思考ス  
三、国民政府ハ財政確立ノ目的ヲ以テ閔税増徴ヲ希望シ嚮  
ニ閔税特別會議ノ際日英米三国委員ノ立案シ関係各國側  
ノ同意ヲ得タル七種差等付加税（二分五厘乃至二割二分  
五厘）ヲ近日中ニ実施シ度キ意向ヲ有スルモノノ如ク九  
次第ナリ

月末ニ至リ宋子文ヨリ右ニ付在上海総領事ヲ通シテ我方  
ノ諒解ヲ求メ來リタリ右差等税問題ハ華府閔税條約及閔  
税會議等ニ由来シ條約改訂問題トハ全ク其經緯ヲ異ニス  
ル次第ナルヲ以テ我方トシテモ之カ商議ニ応スルニ異議  
ナク大体(1)右差等税支払済ノ貨物ニ対シテハ一切ノ内地  
通貨税ヲ免除シ(2)閔税增收ノ一部ヲ不確定債務整理ニ充  
当スルコトヲ条件トシテ右七種差等税ヲ承認スルコトト  
シ度キ方針ニテ目下在上海総領事ヲシテ支那側ト内交渉  
ヲナサシメ居ル次第ナリ尤モ右ノ点ハ外部ニ対シ秘密ト  
セラレ度シ

四、国民政府ニ於テハ外國駐劄支那公使ノ更迭ヲ行ヒ度キ  
趣ヲ以テ曩ニ我方ニ対シテモ新駐日公使任命ニ關スル帝  
国政府ノ意向ヲ非公式ニ問合セアリタルニ対シ當方ニ於  
テハ未タスカル問題ヲ考慮スル時期ニ非スト認メ何等確  
定的意見ヲ開陳セサリシ處最近国民政府ニ於テハ近々新  
公使ノ任命ヲ行ヒ度キ趣ニテ再ヒ我方ノ意向ヲ尋ネ來タ  
リ帝國政府トシテハ未タ国民政府ヲ承認シ居ラサル今日  
同政府ノ任命スル公使ヲ正式ニ接受シ得サルヲ以テ右ノ  
趣非公式ニ支那側ニ申入ルル考ナリ

尚国民政府ニ於テハ主要國駐劄支那公使ヲ大使ニ昇格セシ  
ムルコトニ決定シタル趣ヲ以テ過般右ニ關スル帝國政府ノ  
意向非公式ニ問合セアリタリ帝國政府ニ於テハ右ハ主義上  
異議ナキ所ナルモ現在ハ未タ之ヲ具体的問題トシテ詮議ス  
ルノ時機ニ非スト思考シ此旨非公式ニ支那側ニ回答スル様  
在南京領事ニ訓令シ置ケリ往年公使館昇格問題ニ付帝國政  
府ト貴國政府ト御協議シタル關係モアルニ付茲ニ御話致ス  
次第ナリ

781 昭和3年10月10日 在上海矢田總領事より

田中外務大臣宛（電報）

五院制度確立、国民政府首脳人選完了につき  
本官の南京來訪要請について

上海 発  
本省 10月16日着

第七三九号  
貴電(七七八文書) 第二五七号ニ閱シ

十五日張群來滬十六日朝本官ヲ來訪シ先般渡日ノ際ハ田中  
総理ヨリ日支諸懸案解決ニ関スル日本政府ノ隔意無キ意見

782 3年11月10日 在ニュー・ヨーク斎藤總領事より

田中外務大臣宛（電報）

チャイナ・ソサエティー晩餐会におけるモルガン  
商会ラモント等の中國問題に対する発言について

ニュー・ヨーク 発  
本省 11月11日後着

第七六号

<sup>(1)</sup>九日当地「チャイナ、ソサイティー」晩餐会「ホテル、プラ  
ザ」ニ於テ開催同会ハ從来日本人ノ参加ヲ欲セサル態度  
ヲ取リ居リタルカ今年ハ本官、三井、正金支配人等ノ來会

ヲ求メ来レルニ付「ラモント」ノ意見ヲモ徵シタル上(往電第六四号末段参照)出席スル事トセリ

「レデオ」社長「ハーヴィード」司会シ先ツ「ラモント」ハ支那革命ハ多大ノ難關ヲ控ヘタル大事業ナリ共和国ト云

フモ未タ名ノミニシテ実拳ラサルハ誠ニ已ムヲ得サル処ニシテ益々奮励努力勇氣忍耐ヲ以テ民主制ノ大成ニ向ハム事

希望ニ堪ヘスト述ヘ米国人中ニハ不平等条約撤廃ヲ以テ万

事解決スヘシト考フル者アルモ右ハ只錯覚ナリ内容充実ヲ急務トスト説キ滿州問題ニ関シ内田全権ノ言明及本官ノ

「ウイリアムス、タウン」講演ヲ援用シテ日本ニ野心ナキ事ヲ称揚シ更ニ対支借款團ハ支那側ニテ希望スルニ於テハ

協力ヲ惜ムモノニ非ス云々ト語レリ次ニ施肇基ハ支那統一ノ漸ク緒ニ就キタルヲ述ヘ米国民及米国政府ノ厚意同情ヲ

感謝シ滿州問題ニ付テハ未タ曾テ其ノ支那ノ完全ナル一部

分タル事ヲ否認スルノ言動ニ出ツル事無ク対支借款團成立ノ際關係諸國カ滿蒙ニ関シ特例ヲ認メサリシハ即チ同シ政

見ニ出テタルモノト云フヘシ滿州ノ人口ハ現ニ支那人多数ヲ占メ尚年々多數ノ支那人移入シツツアリ支那ハ滿蒙ニ関

シ要望スル処ハ只國際正義ニ過キス云々ト説キ

### 第九五五号

上海  
本省  
12月14日後着  
発

当地英國商業會議所ハ英支交驩ノ為昨十三日王外交部長孔工商部長等ヲ上海俱楽部ニ招待シ盛大ナル晚餐会ヲ催シタルカ席上会頭ノ挨拶ニ対シ王部長ノ為セル演説要領左ノ通(宋財政部長モ招待セラレタルカ公務ノ為不参セル由)

今夕御招待ノ趣旨ハ專ラ支那問題ニ関シニ充分ナル諒解ヲ

ヲ遂ケ英支ノ好誼増進ニ資セントスルニアリトノコトニテ右ニ対シ先ツ自分ノ感想ヲ述ヘサルヲ得ス一九二五年ヨリ

同二七年ニ亘リ引続キ意外ノ事件發生セルハ相互ニ諒解ヲ

欠キタルニ因ルモノナルカ今日我両國カ友好ノ關係ニ入りタルハ正ニ迫ルヘキ過程ヲ迫リタルモノト云フヘク往年ノ衝突ハ不幸ナリシト雖今日ヨリ之ヲ見レハ敢テ悲觀ノ要ナ

シ一九二六年十二月及同二七年一月ノ貴國ノ宣言ハ當時未

タ我國民ノ対英恐怖心ヲ消滅セシムルコト能ハサリシモ一般ノ対英態度ヲ漸次變化セシムル上ニ効果アリシハ疑ナク

我政府ハ英支両國間ノ危急ナル時期ハ既ニ経過セリト認メ居ル程ナリ今ヤ我政府ハ国内ノ建設事業ニ力ヲ注クト共ニ

伍朝枢ハ支那ハ現ニ思想、宗教、社会、政治及産業ノ五革命ヲ同時ニ経過シソアリト語リ不平等条約撤廃ニ関シテハ「ラモント」ト意見ヲ異ニスト主張シ尚「クーリッジ」

大統領カ目下在支米國公使館ヲ大使館ニ昇格セン事ヲ考慮シ居レリト最近新聞社ニ語レル趣ヲ耳ニセルカ米國ノ支那

ニ對スル同情、信任実ニ感謝ニ堪ヘス云々ト述ヘ

支那民衆教育運動委員會主事 Yen Yu Chuen ハ白話普及運動ノ経過成績ヲ説明シ尚支那ハ由來平和的國民ナルモ近隣ニ侵略的意図ヲ抱クモノアラハ遂ニ四億ノ民ヲ駆ツテ軍閥タラシムルノ惧アリ斯ル事態ノ招來セラレサル様米國民ノ後援切望ニ堪ヘス云々ト語レリ

尚出席者中ニ「ヤング」「ホーンベック」上院議員「コープランド」等見ヘタリ  
米ニ暗送セリ

783 昭和3年12月(14)日 在上海矢田總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

英國商業會議所主催の晚餐会における王正廷  
外交部長の演説について

国際的合作ノ實行計画ヲ樹テ其ノ確立ニ努力シ又我國ニ同情ヲ有スル國家ト協力センコトヲ希望シ居レリ

凡ソ一國ノ政治上ノ根本改革ニ当リテハ以上ノ事態又ハ不穩不逞ノ現象ハ免ルル事能ハス右ニ対シ各國ハ宜シク忍耐心ヲ以テ臨マレン事希望ニ絶エス支那ノ将来ニ至リテハ全

ク近來並ニ現在ノ各國トノ交渉ノ結果如何ニ懸ル次第ナルカ若シ何レカノ方面ニ於テ中國ノ新興阻止ノ運動ヲ試ミ又

ハ支那ヲシテ永ク不穩不逞ノ状態ヨリ脱離セシメサル様策動スルカ如キモノアリトセハスル運動ニ関シ貴國ハ直接ニモ間接ニモ援助ヲ与ヘラル事無シト確信ス自分ハ歐州大戰以後貴國ノ对外態度ノ变化及政府当局近來ノ言論ニ依リ

貴國ハ今日モ尚一八九八年外相「デボンシャー」侯ノ主張セル対支商業政策ヲ維持シ尚一層之ヲ確立セント欲シツツ

アルモノナル事ヲ悟ラシメラレタリ我政府ハ貴國皇帝首相及外相カ近來表示サレタル友好ノ精神ニ感謝措ク能ハサル

モノアリ茲ニ謹ンテ我國人民ヲ代表シ貴國皇帝ノ御惱ノ速ニ御平癒アラン事ヲ祈ルト共ニ政府ノ立場ヨリ貴國在支商務ノ益々發達セン事ヲ希望ス云々

北京へ転電セリ